

第7回「せと川なるほど講座」

「昆虫を探そう会」開催される

夏休みも終わりに近い8月24日(日曜日)蓮華寺池公園でせと川なるほど講座を開催致しました。今回は、「昆虫探そう会」と名打ち、瀬戸川フォーラムと志太自然ネットワークの共催で昆虫を見たり、採ったり、勉強したり、する会を行いました。



当日は天気も晴れ、8月中旬まで天候不順が続いた為子供たちが外に遊びに行っていないためか、小学生32名、大人21名が集まりました。みな手に手にタモ網や虫かごを持ち、にこにこしながら暑いなかを集合しました。

会から山田辰美さん、杉山高史さん、大塚善弘さんが指導にあたりました。まず、郷土博物館で開催されている「昆虫展」を見学しました。杉山さんの案内で、標本になっている志太地域で見られる昆虫を見ました。少なくなった昆虫、外国から来た昆虫、地球温暖化のためか増えた昆虫など、一時間ほど見ながら説明を聞きました。現在、陸上生物では最も古く貴重な生きた化石と呼ばれるオオゴキブリやなかなか見つけることができないナナフシなどの生きた昆虫も展示され、親の引きつった顔を横目に子供たちは触れて、喜んでいました。

その後、蓮華寺池周囲の山に入り、昆虫採集を行いました。昆虫採集には不向きな日中の暑い盛りの中でしたが、セミやチョウ、バッタなどはよく採れました。山田さんは歩きながら得意のネイチャークラフトづくりを指導して喜ばれました。途中、前日に仕掛けた紙コップに餌を入れたトラップを見て回りました。成果は少でしたが、オサムシが入ったりしました。暑さで少し疲れましたが、予定の3時30分に博物館に戻りました。



参加者には記念品もでて喜ばれた行事でした。指導者の皆さんご苦労様でした。

報告 志太自然ネットワーク 大塚善弘